

○ 本校の概要

(学校規模)児童数494名、16学級、教員数20名。
(本年度の校内研究)平成29年度まで指定を受けた次世代型教育推進センター実践フィールド校の研究結果の検証、教員の研修システムの検証を受けて「受け止める力の育成」をテーマとする。
(学校マネジメント強化事業)副校長の業務負担軽減、教員の働き方改革に係る学校改善の在り方の検討。
(特色ある教育活動)・伝統的夏季リコーン・グランドは新型コロナウイルス対応で中止とする。・月1回の縦割り班活動。・矢口ギネスによる体力向上、運動経験の増加。・「総合的な学習の時間」や「理科」「生活科」等で矢口自然園園を活用した体験的な活動の実施。・総合的な学習発表の場である矢口文化芸術劇場は新型コロナウイルス対応のため年度に延期する。・学校地域支援本部との連携を図り、学校支援ボランティアの活用。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 評価人数, 学校関係者記入欄 (コメント). Rows include: 未来社会を創造的に生きる子供の育成, 児童・生徒一人ひとりの学力の向上, 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への豊かな心をばぐみまします, スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします, 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします, 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。